

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名	妊婦歯科健診事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名 鍛野文昭
体系	施策	15	健康づくりの推進		所属課	健康づくり推進課	担当者名 稲崎奈々子
	基本事業	44	病気の早期発見		所属班	健康推進班	(内線) 2134
予算科目	会計一般	款 4	項 1	目 6	事業連番 10372	法令根拠	成果優先度評価結果 : ② コスト削減優先度評価結果 : ①
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<p>・市内の歯科医院で歯科健診を受けることにより、むし歯や歯周病などの歯周疾患を予防及び早期発見・早期治療することで、早産や低体重児出産の予防につなげる事業である。歯周病が早産に影響することがわかり、妊婦への歯科健診の必要性が高まっている。</p> <p>・旧合志町にてH16年度より実施。歯科保健連絡会議にて、歯科医師より妊婦の歯科健診の必要性について助言があり、開始した。合併後、全市を対象とした。</p> <p>①実施方法：母子手帳発行時、転入時に受診券を窓口で交付。対象者自身が市内委託歯科医院（H20年度：16カ所、H21・23年度：15カ所、H24年度：17カ所、H26年度：20カ所）へ予約し受診する。受診の際は受診券と母子手帳を持参する。</p> <p>②対象者：母子手帳を発行した妊婦及び転入した妊婦</p> <p>③実施期間：通年（妊娠中の体調が良い時に受診することを勧めている。）</p> <p>④料金：自己負担は無料。委託料3,500円を市が全額負担する。</p>
【業務の流れ】	①市内歯科医院との契約、必要書類を渡す②母子健康手帳交付時に受診券発行及び歯科健診の重要性について説明③受診後、医療機関への支払い事務④健診データの整理及び入力
【主な予算費目】	委託料、需用費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	窓口で妊婦さんより、「無料で受けられるんですね。是非、行ってみます。」「早産や低体重児出産と歯周疾患が関係あることを知ってびっくりしました。」との声がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
新たに3カ所の歯科医院が開院したため、委託歯科医院が20カ所が増えた。また、受診券発行時にリーフレットを用いて受診勧奨を行なった。	今年度同様実施する。母子手帳交付時に早産と歯周疾患の関係性について説明し、受診の啓発を行う。
平成26年度実績：受診者数279件	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 受診者数	人 平成27年度から本事業を歯周疾患検診事業に統合するため、委託料、印刷製本費の減。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
妊婦及び転入した妊婦	(単位) 人
	→ ア 合志市妊婦数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
むし歯や歯周疾患の早期発見・早期治療し、歯周疾患がもたらす早産・低体重児出産を予防できる。また、妊娠前から口腔の健康への意識を高めることで、後の家族の口腔への健康へとつなげる。	(単位) %
	→ ア 受診率
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠	
健診を受診することが、むし歯や歯周疾患の早期発見につながるため、受診率を成果指標に設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込	
① 活動指標	人		293	256	280	279	280	285	290	295	
② 対象指標	人		668	686	670	734	670	670	670	670	
③ 成果指標	%		43.9	37.3	38	38	39	40	41	42	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	(A) 事業費計	千円	827	531	898	999	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	5	6	1	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	470	371	500	150	0	0	0	0
(B) 人件費計	千円	1,913	1,478	1,992	597	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,740	2,009	2,890	1,596	0	0	0	0		

事務事業名	妊婦歯科健診事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	----------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 受診率は昨年度より微増し、目標値を達成した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 受診券発行時の啓発方法を検討する。また、近隣の産科医療機関にポスター掲示をするなど、産科医療機関と連携して啓発を行なっていく。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 受診券発行時の啓発方法を検討する。また、近隣の産科医療機関にポスター掲示をするなど、産科医療機関と連携して啓発を行なっていく。妊婦訪問等で受診勧奨を行なう。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 対象者は異なるが、歯周疾患検診と類似するため統合し、事務量の軽減を図る。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 専門的知識と技術を要するため委託して実施している。委託料は医療保険点数の基準に準じているため、削減余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 歯周疾患検診と事務事業を統合することで、契約方法、必要物品の購入等の事務量の軽減を図る。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 妊婦が安心して妊娠・出産するために必要な健診であるため。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 健診については、市内歯科医院に委託して行っており、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

受診券交付時に、歯周疾患が妊婦に及ぼす影響についての啓発チラシを使用し個別に説明することで、受診者の増加につながったと考えられる。今後も産科医療機関への啓発ポスターの掲示や妊婦訪問での周知徹底を行い、さらなる受診率の向上を目指す。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 今後は、歯周疾患検診と統合して事務量の軽減を図る。また、受診券発行時の啓発を徹底して、さらなる受診率向上を目指す。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 受診率が横ばいで推移しているため、受診券発行時や医療機関と連携して、妊娠中の受診啓発を行なう。																						